

記入日：令和2年8月20日

所在地（都道府県/市町村）：岡山県 岡山市 南区藤田 1543		
法人名：社会福祉 美土里会		担当者名：柴田 昌代
TEL：086-296-5050	FAX：086-296-6300	E-mail：dayhousekarin@arrow.ocn.ne.jp
施設・事業所名：ハローファクトリー		
事業種類：就労継続支援B型		
主たる障害：3障害 主に知的障害		令和2年3月末現在 定員：35人
施設・事業所名：デイハウス かりん		
事業種類：生活介護		
主たる障害：3障害 主に知的障害		令和2年3月末現在 定員：20人

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<p>生産活動：自動車部品のバリと、プラスチックハンガーのリサイクルなどの下請け作業 手芸品（ヘアピン・ヘアゴム・シュシュ・エコたわし）エコポットの作成販売 その他の活動：創作・運動・健康な身体づくり・散歩・社会体験・外食・音楽療法・学習 余暇活動 等</p>
--

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<p>生産活動得た収入で利用者に工賃を支払っていたが、下請け作業が数ヶ月全くなり、手芸品の売上も減少したことで収入が大幅に減少し工賃が支払えない状況になりました。 社会体験・外食などで施設外へ出かける活動が出来なくなり利用者によっては、楽しみが減りストレスを感じられている方もいます。</p>
--

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

<p>事例タイトル：マスク用 イヤーガードの作成・販売</p>
<p>取り組み内容： マスク着用の日常化、長期化による耳の痛みを緩和できるようにマスクのゴムをひっかけて後方にひっぱるグッズ（＝イヤーガード）を作成・販売しています、</p>

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

きっかけはマスク着用により耳の痛みを感じている人が周りにいたこと。また職員のご家族が手作りしており、作って見たら？とすすめられたこと。同法人の別の事業所で手作りマスクを作成・販売していたこと。工夫した点は男性・女性・子供・年配の方等幅広い層に利用していただけるようデザインを考えたこと。ゴムをひっぱりすぎて鼻が窮屈にならないよう大きさに配慮したこと。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

セルプおかやまの店舗に商品を置いていただき、地元の新聞記者さんから問い合わせがあり取材を受け新聞に掲載されました。その記事をNHKの記者の方が見られ問い合わせがあり、テレビ取材を受け放送されました。新聞・テレビの反響で問い合わせや購入いただくことが増え、売上が伸び収入が増えています。セルプおかやまの店舗でも売上が伸び、利用者ご家族様からも購入いただいています。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

新たに導入した生産設備はありません。
材料購入のための経費は新たにかかっています。

⑦ 今後の課題・展望

まだしばらくマスク着用は続きそうなので引き続き作成していく予定です。

課題としては 男性用デザインの検討

耳の上部のゴムも耳にあたらないようにする工夫

親子でおそろいで使ってもらえるよう親子セットを作る 等





